



一般兵士アキラが
四天王ルネを
使い魔にできた物

静粛に

ザワ

ザワ

ざわっ

オイオイ妖狐って...

妖狐が侵入したと
報告があつた
目撃情報も得ている

しばし警備を
増やすことにした
皆の者、頼んだぞ

昔、王の右腕も
奪ったマモノダラ...?

解散!

アキラ.....
しばらく遊べねえな

はあ

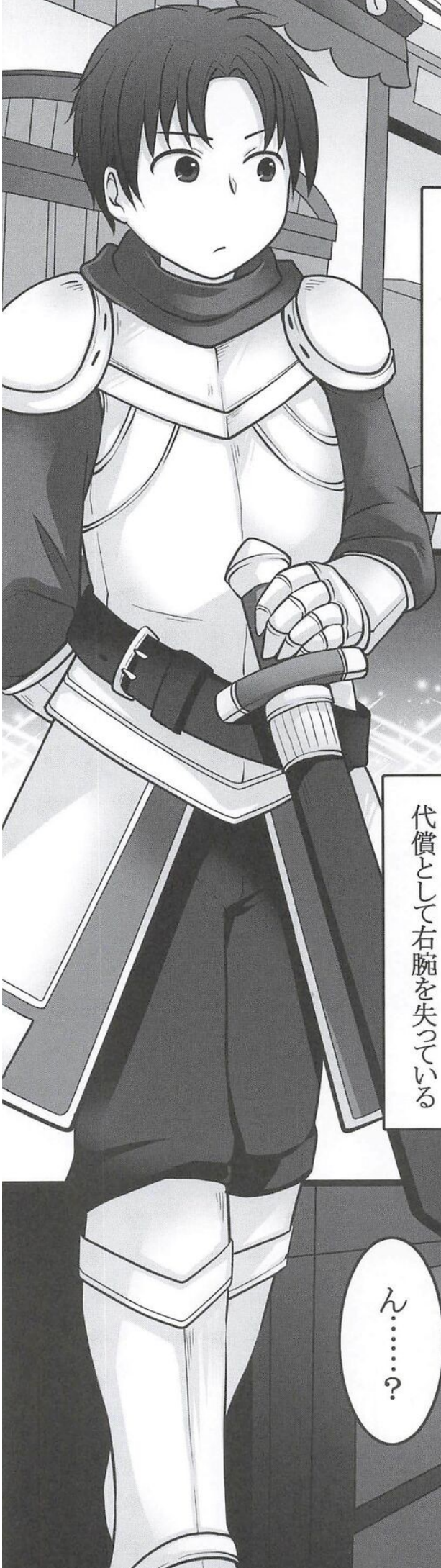
俺たち
人間の未来が
かかてるんだ
我慢しろ

つてもささ

——人間と魔物
両者の戦いは数十年に及ぶ

互いの価値観のすれ違いか
気がついた時には
憎しみ合い戦争に発展していた

キュッ



戦況は人間側が
やや不利と言われる

人間軍最大の国と言われる
この国が落とされたら

戦況は一気に傾くだろう



妖狐とは
美しい女性の魔物

特徴的なキツネのような耳に
もふもふの尻尾を持つ
れつきとした魔物だ

人間では到底出せない素早さで
かつて侵入した妖狐が王を襲い

王は一命をとりとめたが
代償として右腕を失っている



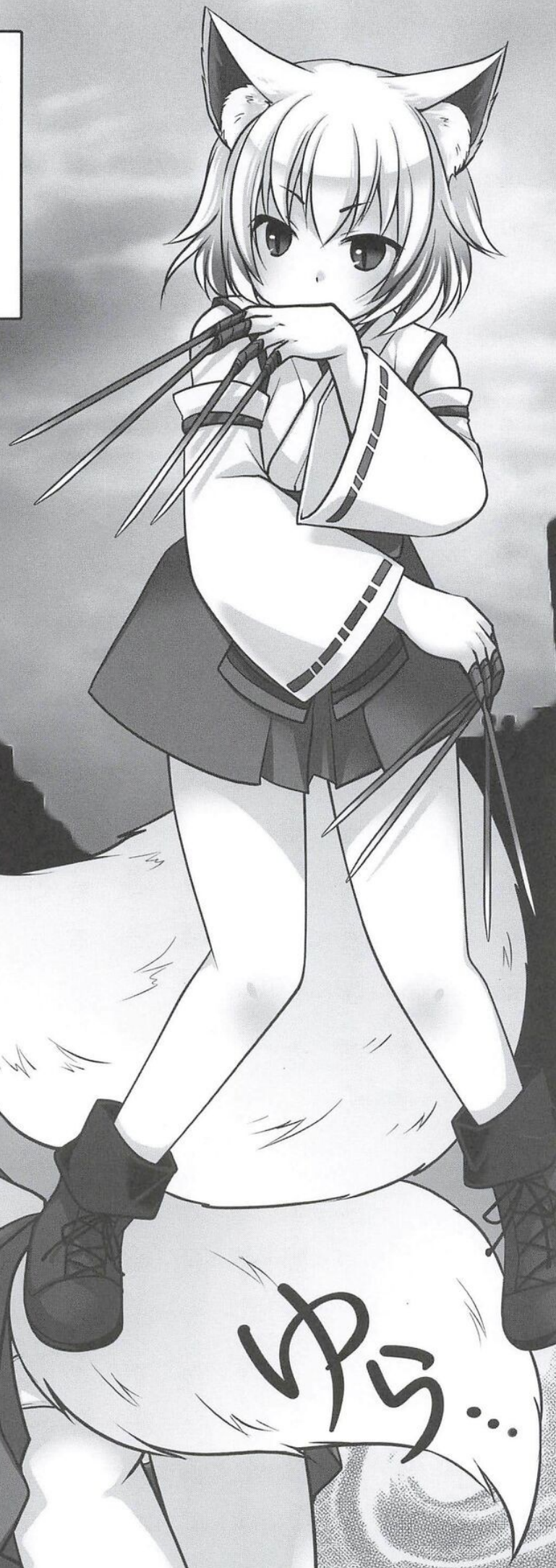
そんな妖狐が
街に侵入した

それすなわち
王の首を狙って
いるのだろう

ん……？

ガサッ





特徴的な
銀色の二つの
ふさふさした獣耳

銀色の尻尾

東方の国の
一風変わった
その衣装

報告に聞いた
妖狐の特徴と
一致する

だが……

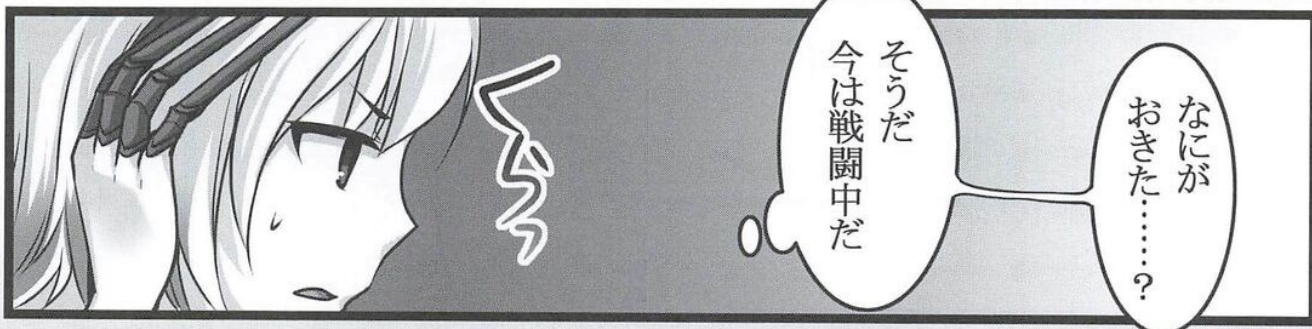
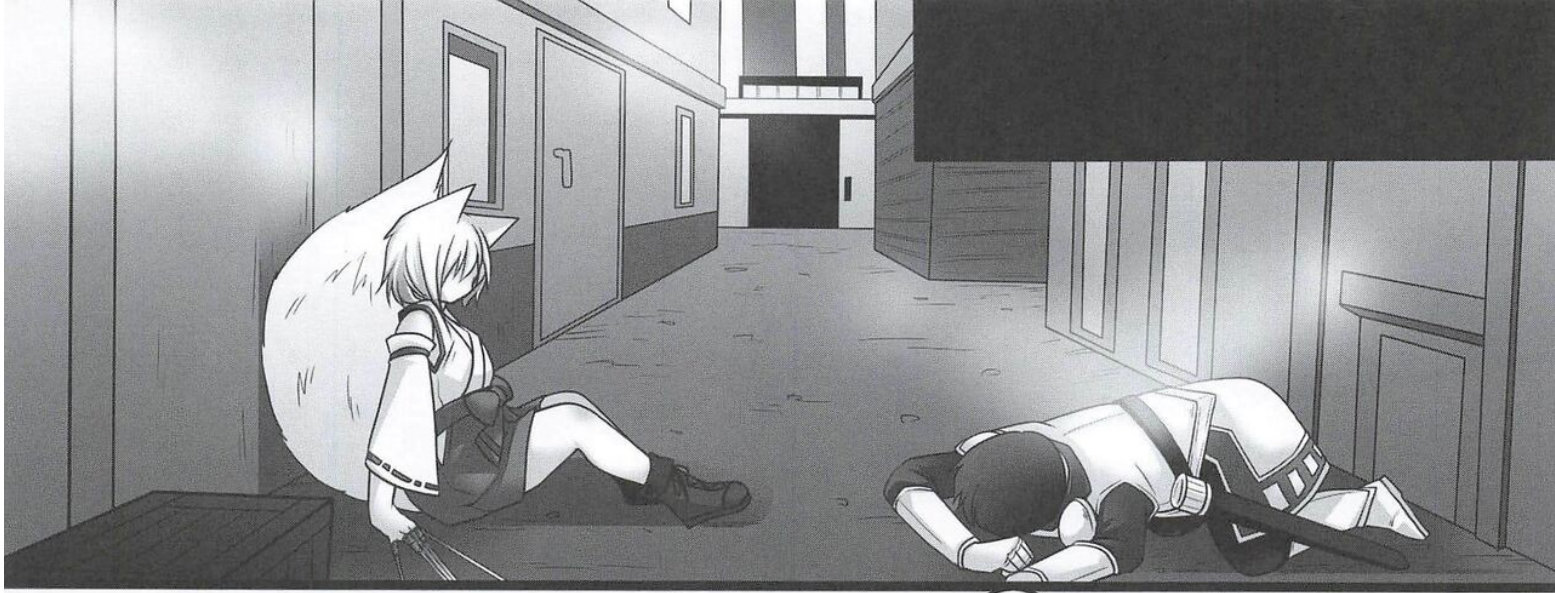
子供？

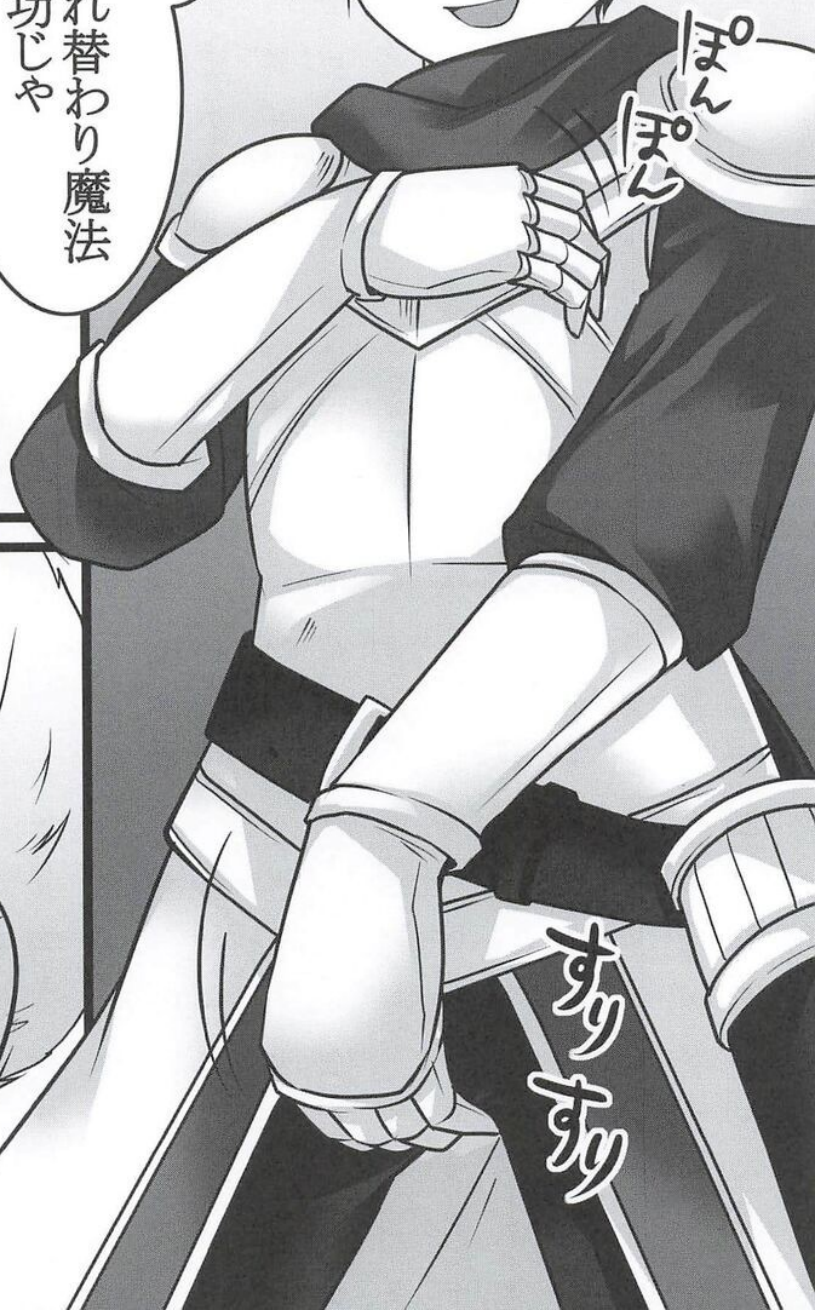
お主
妾を怒らせた
ようじやの

ゆら…











どうじゃ
いいカラダじゃろう？

まずは
耳からじゃの

セクッ



そんな……
ま、まさか

へた

へた



もみ

もみ

セクッ



妖狐はの

ここを
触られると
落ちてく
んじゃよ



それは――

سَيِّئًا تَمَقَّرُ لَنَا
شَيْئًا لَمْ نَحْزِرْ وَيَضِ
هَتْتَعْرِضُ لَنَا

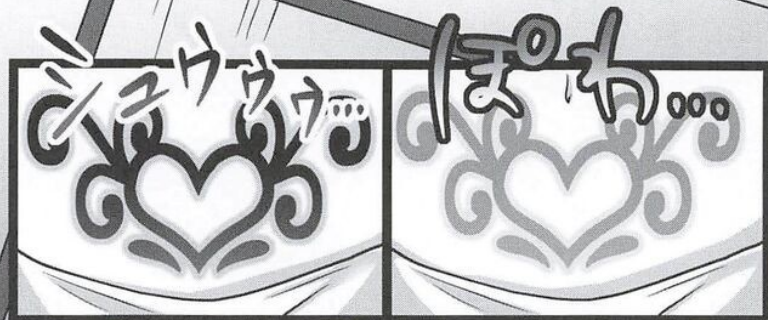
はッ



くっ

なんだこれ
ち、ちからがぬける……

今の声……
おれの……？



『使い魔刻印』

ああつ……！



まずは
仮契約じやの

くっ……！



次は毛玉じや

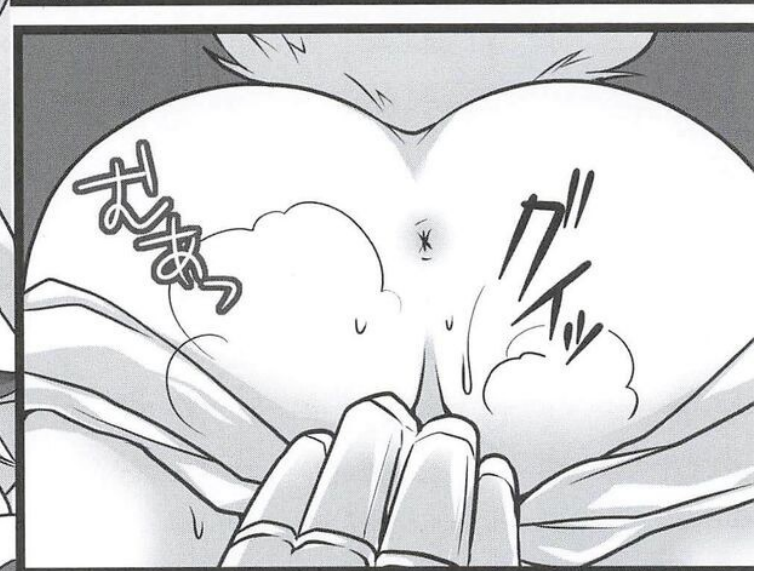
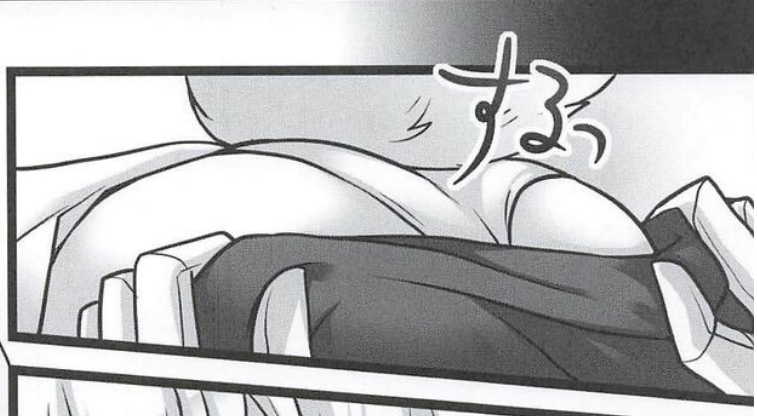
いい声で
鳴くのう……♪

毛玉はの、
性感帯の二つ
なのじや

せいかん……たい？

そう、お主は
『メス』として感じて
いるんじやよ





股間に何か
生暖かくて
固いのが……

は

あ
あ
あ

最高じゃ
自分の膣がここまで
締まるとは

うぐぐぐ……

男は最高じゃな！



みつともなく
突かれてえ……!!

どうしたのじゃ
すっかりメスの声
ではないかえ

オンナの身体
すぎすぎ……♡

もつと締まってる
のじゃつ……!!
『妾』のGスポットは
最高じゃな!

ズチュ

ズチュ

おっ♡
おっ♡

ズチュ
あ♡
ん♡

しゃっ♡
しゃっ♡

110

110

はっ♡
はっ♡

110
アッ

ビュッ
ビュッ



——使の魔刻印

それは人間が魔物を
使役という名の奴隷
として扱う為の刻印

これを刻まれた魔物は
文字通り人間の奴隷になり
生きるも死ぬも主人次第

これからよろしくの。
魔王四天王の『タマモ』殿？

なっ！

妾……じゃない、
俺の言う事を聞くようにな
この『アキラ』のな……？

っ……！

よし
移動するぞタマモ
狐火になれ

わかりました
のじゃ

口が勝手に……

狐火は他人には見えない
だが俺は見えるから安心しろ

何故、王を殺さなかったか。か？
王を殺すだけが
俺の仕事じゃないからな

俺がいいって言っまで
声を出すなよ





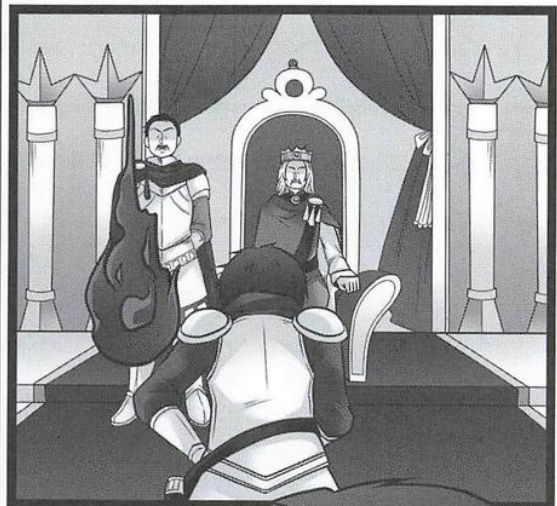
して、
アキラと申したな

我々にしか話せない
用件とは？



数時間後――

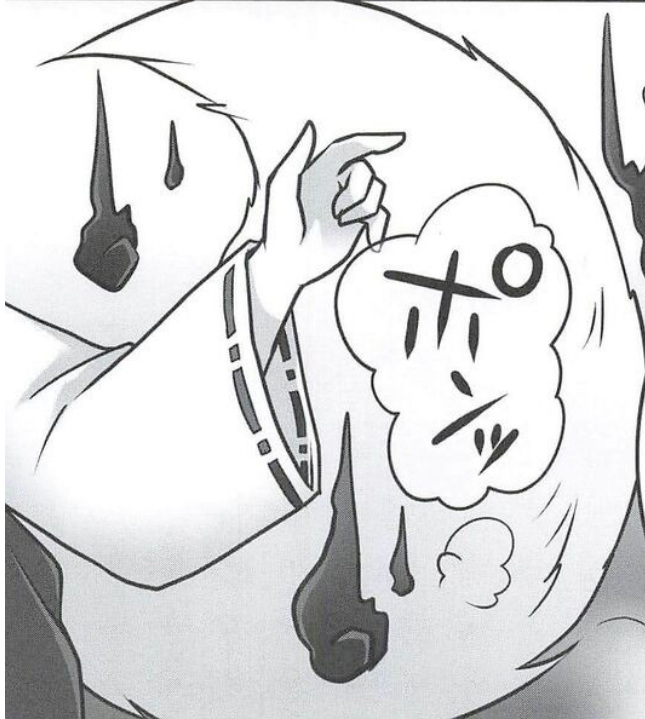
入れ



なっ………！

妖狐の
使い魔化に
成功しました

単刀直入に
申します



はい
出てこいタマモ

なんと………！
まことか
アキラよ





偶然、路地裏を
パトロールしていると
居眠りしているのを
発見し使い魔化
しました

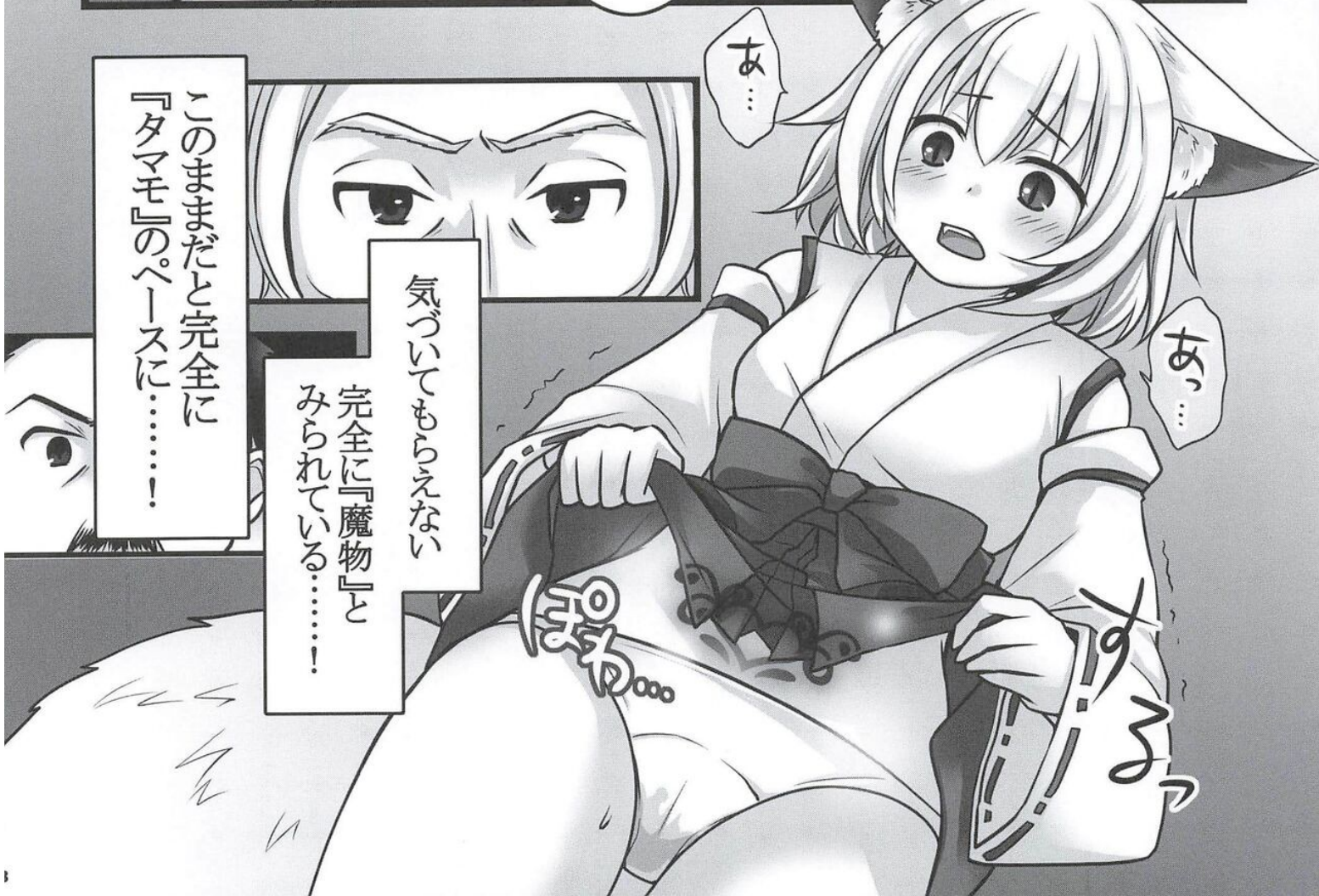
こいつは
魔物軍四天王の一人
『タマモ』のことです



四天王……？
何故こんな所に

タマモと言ったな
本当に
そうなのか？

タマモ、答えろ
使い魔刻印も
見せるようにな



このままだと完全に
『タマモ』のペースに……！

気づいてもらえない

完全に『魔物』と
みられている……！



引む

アキラ

お主には褒美をやらう
今後の事も考えておこう

有難う
ございます

それよりも王、
これからの事です——

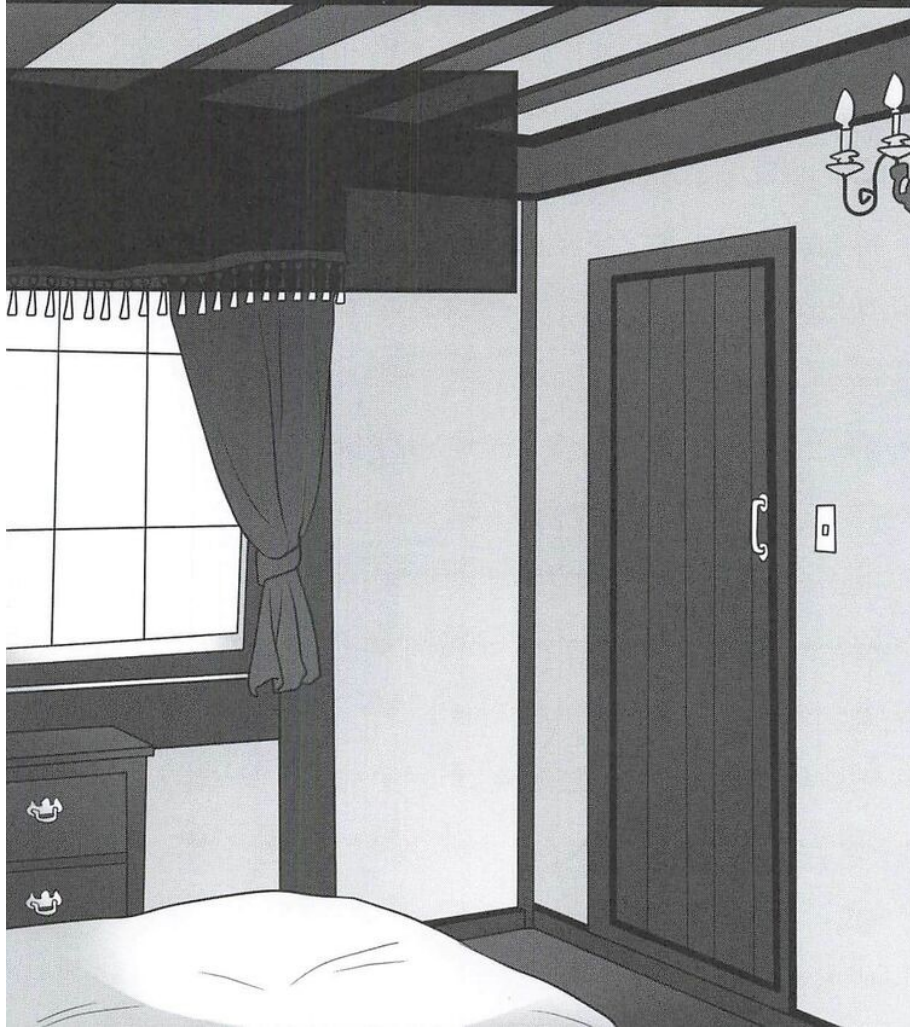


妾……は
魔物軍が四天王の二人
タマモなの、じゃ

ニンゲンの王を
暗殺する為に街に
忍び込んだ……のじゃ

くっ……
また口が勝手に……!!

眠っていたのは
姿を隠す魔法を使いすぎて
疲れていたから、じゃ



「妖狐が捕獲された
事はあえて公開しない

お前を魔物軍に送還し
王の討伐に失敗したが
致命傷を与えたと報告する

魔物軍の総攻撃は
二週間後に行われる

総攻撃日
命令でお前を呼び戻し
戦力として投入し
魔物軍の指揮官を暗殺

いやあ実に
素晴らしい作戦だ

最高だ

だが
その作戦は……

いや、今は
語るべきじゃない

そうだと
タマモ?

ふん

……

無視か

尻尾はな
妖狐の性感帯の二つ
なんだよ

まだあるのかよ……!

も、も、も

もふ

ビクッ

どうだ
気持ちいいだろ？

きもちよくなんか……！

どうせっ

途中から激しくして

んあ♡

むりやり
イカせるんだろ？

わしゃ
わしゃ

ほう……
中々の根性じゃ

くあ♡

ゼッ
ゼッ

ここまでされておいで
負ける訳には……！！

はっ♡

すい♡

ギョッ

こうして抜くと
びびびって感じがするだろ？

妾はこれに
耐える事が苦手なのう

……？

それよりも





おれは
負けない……!!

いつか
お前がお前だと
バラしてやるから……!!

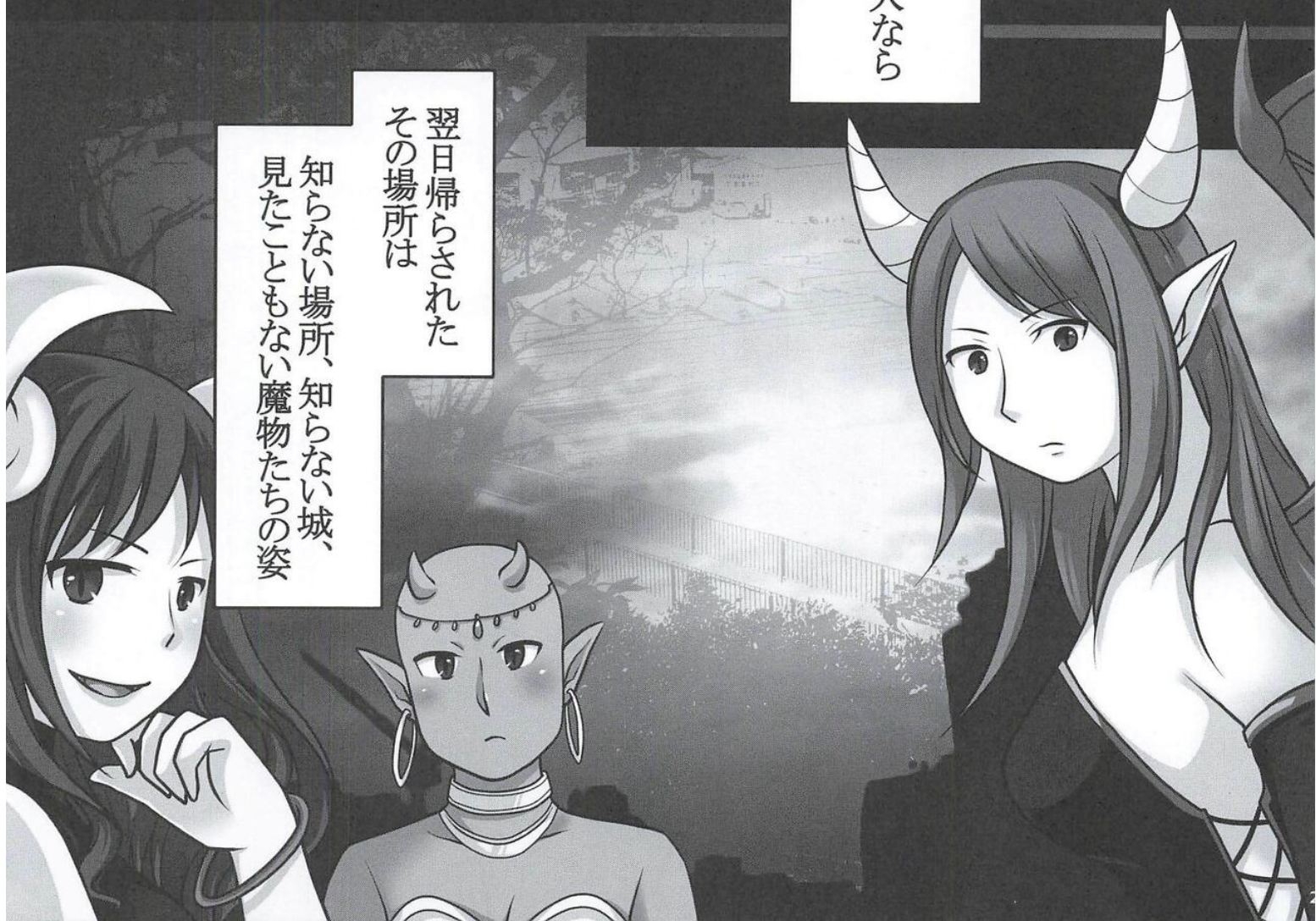
ニヤ……

どうにかして
報告しなければ

誰でもいい、
信じてくれる人なら
誰でも……

翌日帰らされた
その場所は

知らない場所、知らない城、
見たこともない魔物たちの姿





顔パスで城内に通され
魔物軍の王……魔王と対面

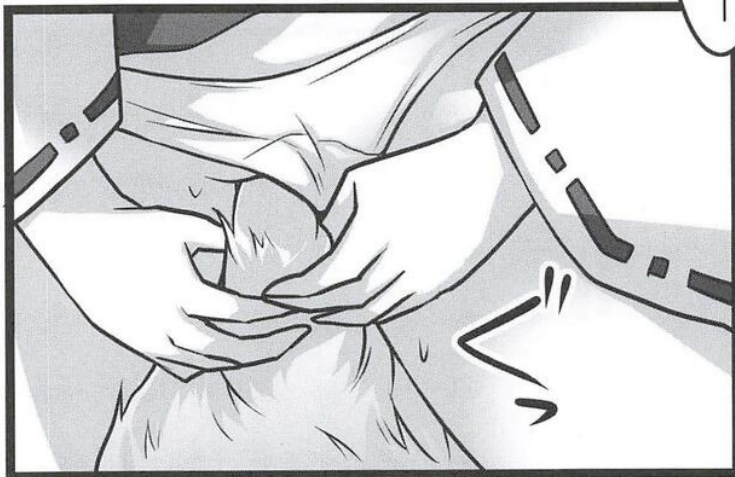
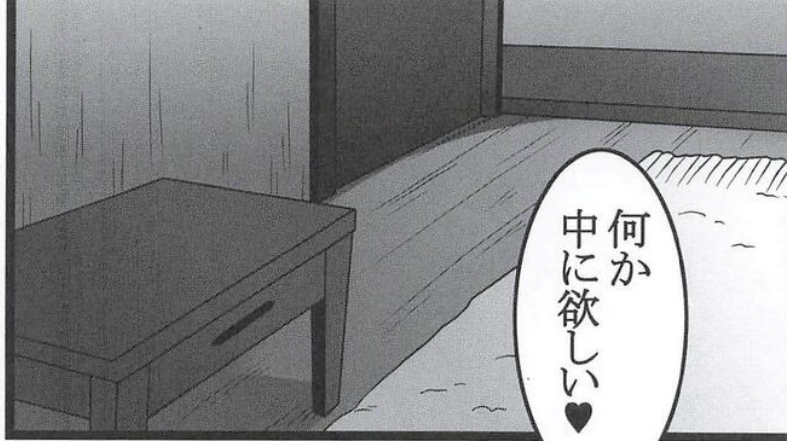
ご主人様に
言われた通りの事を報告
『わらわの中身は
人間の男です』と。

魔王は他の者たちに命令し
予定通り二週間後に
総攻撃を仕掛ける、と伝えた

そして「彼女」は……
幽閉される事になった

表向きにはタマモは
人間の王にケガを負わせるも、
自身も不意打ちを食らい
療養中、という事になっている





じゅぽ

じゅぽ

しゅぽも
ま〇も
きもちいい
.....♪

じゅぽ

ビクッ

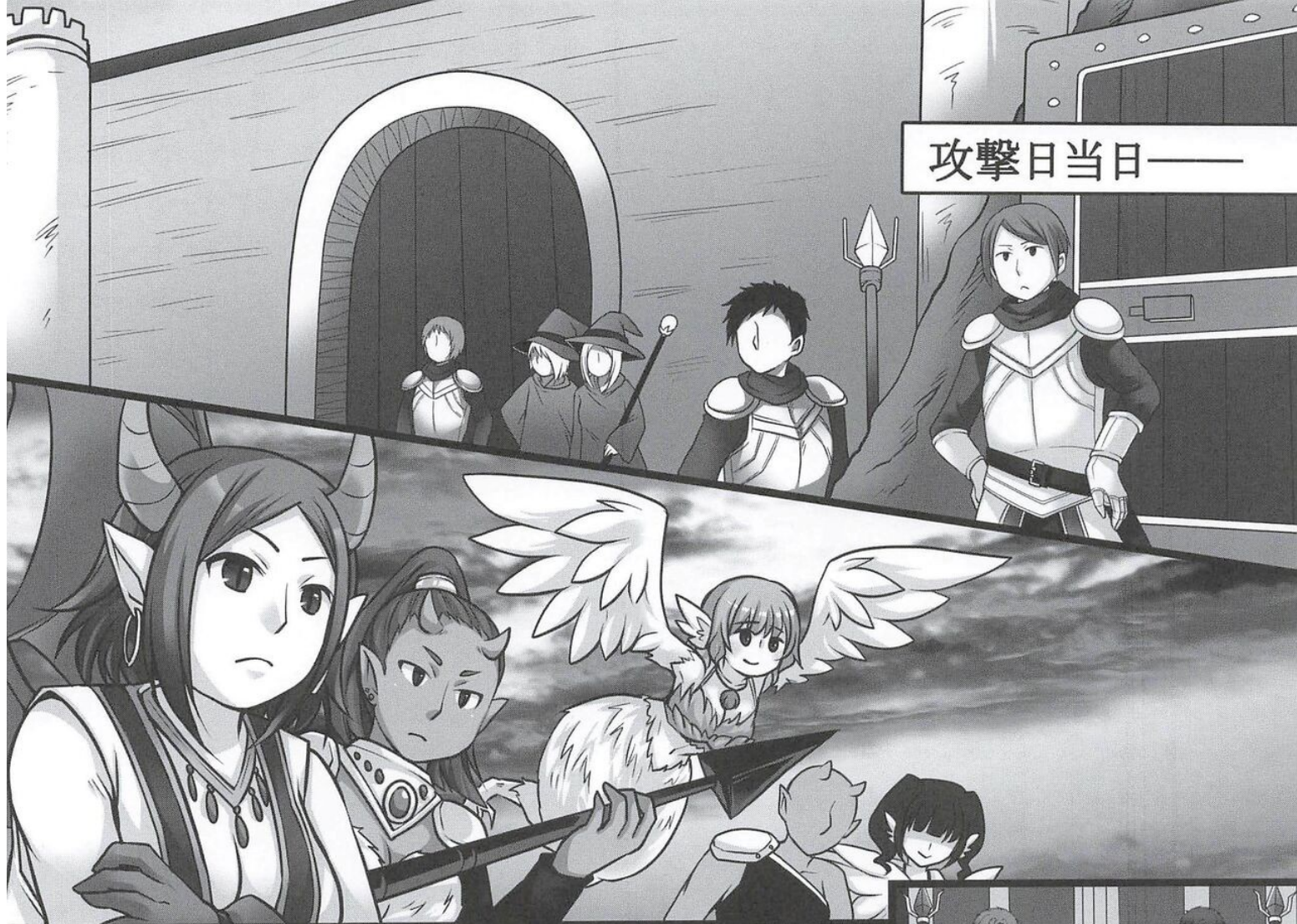
ビクッ

ノタ...

また.....
やっちゃったあ.....

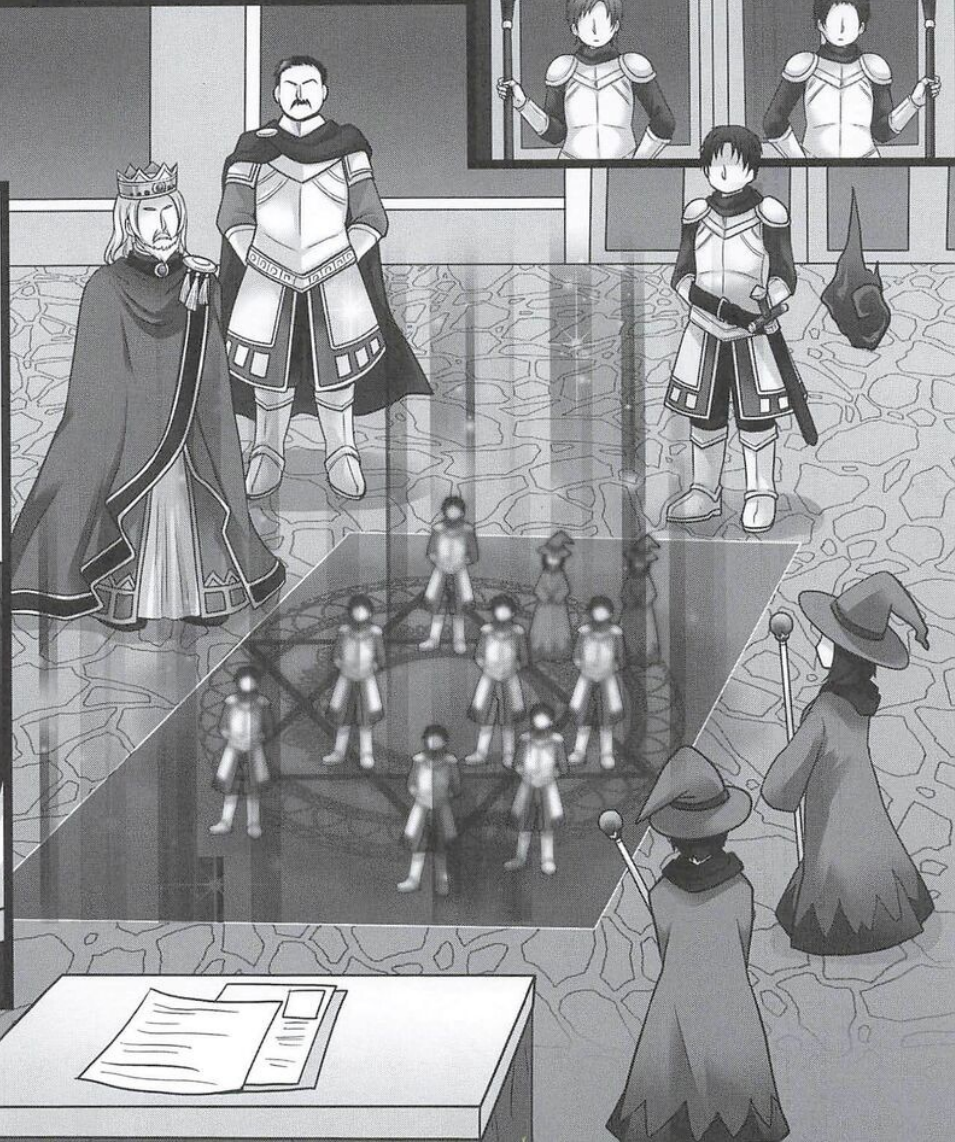
はやく
なんとかしないと
いけないのにい

攻撃日当日——



アキラ
用意は整っているか？

ええ、既に『敵』に
送り込んであります





いやだ……
やめてくれっ

王、大隊長……!!
誰でもいい!!
気づいてくれえ……!!



コホン

では王よ
声明を

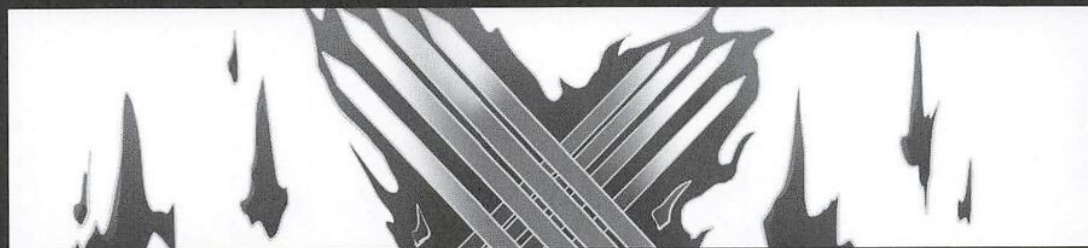
うむ



皆の者、聞こえるか!
我が名は王である



今回だけでいい!お願いだ



お願いだ.....頼む、お願いだから——





まさか
貴様ア!

アキラ



王!?

何故
貴様がここに!?



おれが……

王を、

ころした?



タマモ、全員やれ

手加減するな
『あの時みたいに』



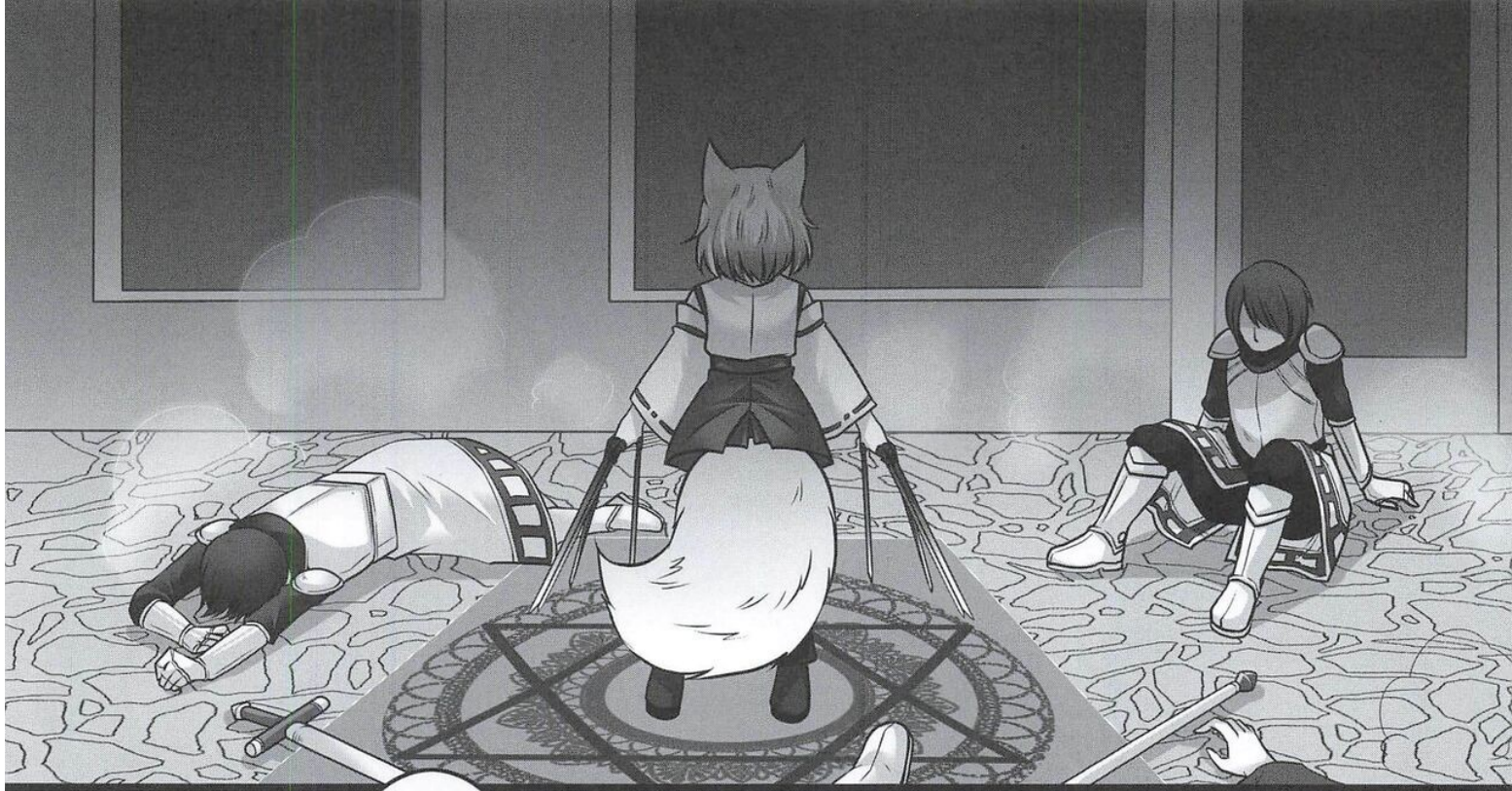
あ の とき。

それはいつだったか……

それは……最近、彼女とアキラが戦った時。

まさかあの時、
手加減していた？

その気になれば、一瞬で……



魔物軍が四天王
『アキラ』が宣言する

人間どもよ降伏せよ
さもなければ危害は与えん



王、大隊長は
死んだ

魔物軍は
今日を持って
この国を占領する

これは敵の罠だ！

でもあんなモノ
見せられたら……

どうすりゃいいんだ



おれが……

よくやったタマモ

あんなことばかり
してたから……
みんなお……



うわあああ

うっ……

——数週間後

失礼する

もあま

あま

ガッ

私は殆ど
何もしてないがな

それにしても……

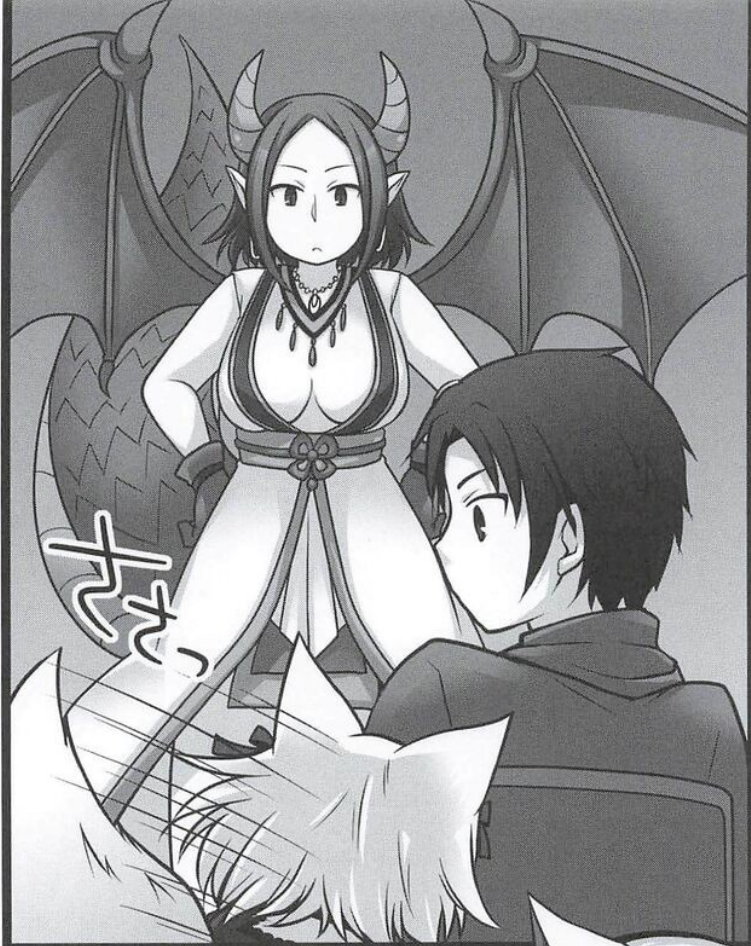
ちゅ

タマモ……
いや、アキラ

先の作戦は
見事だった

ああ、そちらこそ
指揮官として
大変だったろ

ビクッ



おいおい
そんな目でタマ子
見てやるな



Before

あまりにも
変わりすぎてるんだな

しばらくは
慣れん

先の戦いで精神を
病んでしまつてな

そうか……



ああ

それでは
私は失礼する
また
四天王会議で
会おう



・あとかき

原作者のいが扇風機です。

このたびは当サークルの本をご購入頂き、ありがとうございました！

ゲーム制作したり、小説書いたり、漫画原作したりしましたが
こうやって漫画原作本を出せる日が来るとは思いませんでした。
本来なら2020年のGWコミケに出せる予定だったこの本を
遅らせに遅らせまくってようやく今の時期になりましたね……。

今作はいかがだったでしょうか？

この原作は昔なろうに投稿した小説のリメイク作品となっております。
小説書き始めて初期の頃に書いたモノでしたが、
内容は気に入っていたんですよ。

なのでいつかりメイクしたい！と思い、今回は原作にしてみました。

後々になって『タマモが何故ボディスワップを使ったのか』の説明が
無い事に気づいたりもしましたが……。

ちなみに彼女は子供体型の己が嫌いで、
四天王の立ち位置を手に入れてもどことなく部下にも見下されている。
というコンプレックスを抱えていました。

しかしながら、いざ身体を入れ替えると部下たちが思っていたことを
理解してしまったようです。

『タマモ』という妖狐は恐怖の対象ではなく、愛される小動物なのだと。
その結果があのかスロリ衣装だそうです、かわいいね。

長くなりましたが、夏コミに向けて漫画原作をもう一つ考えております。
作画の倉塚りこさんにもお話は通しているので、
ぜひともお楽しみにしておいてください。

ではまた、別の作品で会いましょう！ゲームもがんばるぞ～。



2021年 12月31日 いが扇風機

漫画の作画を担当させていただきました、倉塚りこ と申します。
ここまで読みくださりありがとうございます！

今回は私が普段あまり描く機会のなかったタイプの男性キャラクターも登場していたり、
原作のいが扇風機さんとも色々相談しながら描くシーンやキャラデザインを
決めていったりなど、打ち合わせからとても楽しい制作でした。
読んでくださった方にも原作の良さが伝わってるといいなあと思います。
よろしければ感想などもいただけたら嬉しいです！

この作品をお手に取ってくださった方、
制作をご一緒してくれたいが扇風機さん、
本当にありがとうございました！

Twitter

https://twitter.com/kura_rikko

Pixiv

<https://www.pixiv.net/users/9248>



↑ タマモのこんな感じの
アクスタとか作ってみたい…！



奥付

一般兵士アキラが 四天王タマモを使い魔にできたワケ

発行日：2021年12月31日

サークル：茶畑に生えた筍

発行者、原作者：いが扇風機

Twitter：@igasenpuki

Mail：igasenpuki@gmail.com

ブログ：いが扇風機のTS適当ブログ

<https://igasenpuki.exblog.jp/>

茶畑に生えた筍(Fantia)

<https://fantia.jp/fanclubs/17725>

イラストレーター：倉塚りこ

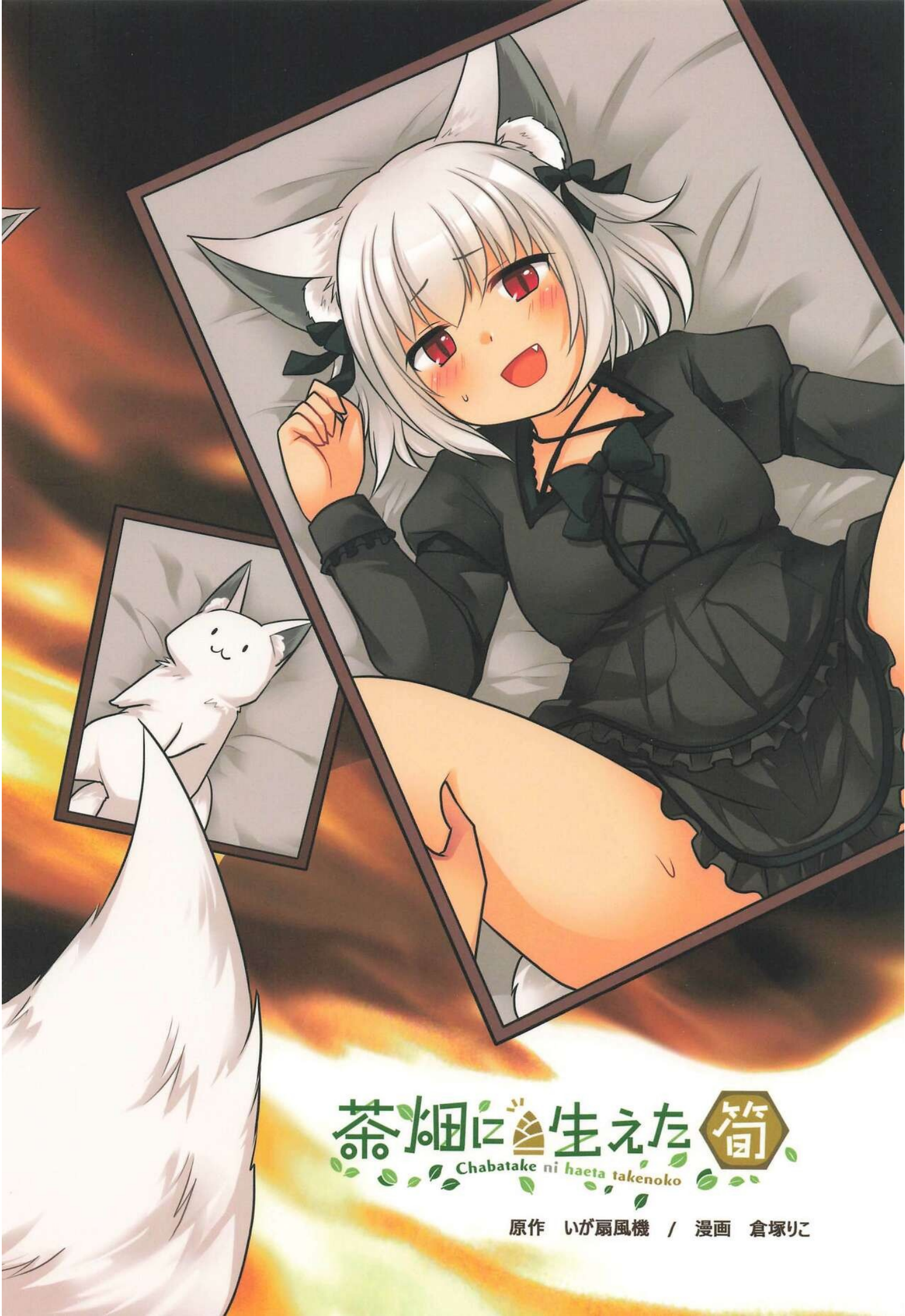
Twitter：@kura_rikko

Skeb https://skeb.jp/@kura_rikko

FANBOX <https://k-rikko.fanbox.cc/>

印刷所：株式会社しまや出版

18歳未満の購入閲覧及び無断転載禁止。



茶畑に生えた筍
Chabatake ni haeta takenoko

原作 いが扇風機 / 漫画 倉塚りこ